

政策評価調書(30年度実績)

政策名	スポーツの振興	政策コード	Ⅲ-3	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------

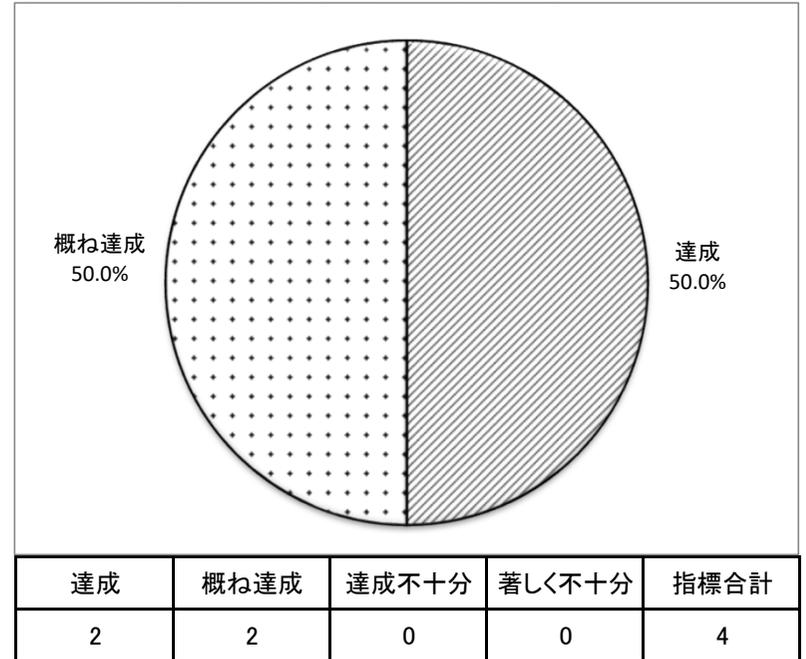
【Ⅰ. 政策の概要】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進により健康で活力に満ちた長寿社会を実現するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成、ラグビーワールドカップ2019の成功に向けた取組や国際スポーツ大会の誘致など、スポーツによる地域の元気づくりを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民スポーツの推進	達成	A
2	世界に羽ばたく選手の育成	達成	A
3	スポーツによる地域の元気づくり	概ね達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、幼児から高齢者までライフステージに応じたスポーツ活動の推進が求められる。また、人や地域の交流を促進することで、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に貢献するため、住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備が求められる。

ラグビーワールドカップ2019のホスピタリティ施設等としても活用する県立武道スポーツセンターがH31年に完成したことにより、当該施設を活用して日常的にスポーツに親しむ機会の充実が求められている。

2020年東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019などの各種国際大会において、本県出身選手の活躍を期待する声が高まっている。ジュニア期からの効果的な選手の育成・強化を図るため、優れた資質を有するジュニア選手の発掘に取り組むとともに、小・中・高等学校を通じた一貫指導体制の確立が必要である。また、選手を指導する指導者の育成・確保も必要である。

ラグビーワールドカップ2019大分開催の成果を一過性のものとせず、着実に引き継いでいくことで、ラグビー文化の定着や国内外からの誘客による地域活性化等の取組を進める必要がある。また、県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源の活用により、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の向上を図るとともに、スポーツ参画人口を拡大することで、活力ある絆の強い社会の実現と県民の地域への誇りを育み、地元定着、人口増加に繋げる取組が求められる。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—